

このごみ、何ごみ？ しっかり分別できていますか



市では、ごみを可燃ごみ、不燃ごみ・有害ごみ、資源物、粗大ごみの4種類に分けて収集しています。資源物としてリサイクルできる紙類・布類、ペットボトルや金属類をごみとして出していないか。ごみを出す前に正しく分別できているか、もう一度確認してみましょう。

この特集のお問い合わせはクリーン推進課 ☎421-6768 ~ 6770へ。



▲正しく分別されたペットボトルは回収・圧縮され、新しいペットボトルに水平リサイクルされます

ている新聞紙やダンボールなどの紙類も良い状態のままリサイクルするため、なるべく雨の日は避けて出してください。

POINT

資源物に出せない紙類もあります。次の紙類は可燃ごみで出してください。

- ▶臭いや汚れのある紙
- ▶シールや圧着はがきなどの粘着物を含む紙
- ▶レシートなどの感熱紙
- ▶かばんや靴などの詰め物など

POINT

乾電池に限り、指定ごみ袋の外装袋などの透明な袋で出すことができます。充電式電池は市で処理できないため、販売店に引き取ってもらうか「再くるくん協力店」などで適正に処理してください。詳しくは右のコードを参照してください。



家庭ごみの排出量が増加傾向

本市では、平成30年までは、家庭から出るごみの排出量は減り続けていましたが、新型コロナウイルスの影響で自宅で過ごす時間が多くなったことで、2年度は平成30年度と比べて2,706t 増え、44,490t のごみが排出されました。3年度は44,098t とやや減少しましたが、4年度は3年度を若干上回るペースで排出されています。持続可能な豊かな社会を次世代に引き継ぐためにも、分別など、できることから始め、ごみを減らしましょう。

なぜごみを分別する必要があるの

正しく分別することで、ごみの中に含まれる資源を有効活用でき、循環型社会の実現につながります。3年度に行った組成分析では、可燃ごみの約35%は紙類、約32%は生ごみ類です。紙類にはリサイクルできるものも含まれているため、資源物として分別することは、可燃ごみを減らすことにつながります。

また、生ごみ類には水分がたくさん含まれており、野菜を洗う前に皮を剥いたり、三角コーナーの水切り袋を絞ってから捨てたりするなどの工夫をすることで、可燃ごみの排出量を減らすことができます。ごみ袋へ入れる前に、しっかり水分を切ったか、もう一度確認をしてみましょう。

冊子や家庭ごみ分別検索機能で正しいごみの分別を

分別区分と主な品目、出し方のルールを右の表で確認し、適正な分別を。分別方法は、市ホームページに掲載の「家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方」かクリーン推進課、清掃センター、支所・連絡所で配布している冊子をご覧ください。右のコードから見ることもできます。



また、5年度から市ホームページに家庭ごみ分別検索機能が追加されました。地区ごとのごみの収集日が確認できるほか、捨てたいごみを検索フィールドに入力すると、分別方法などが確認できます。詳しくは右のコードを参照してください。



分別方法と出し方のポイント

POINT

資源物として回収する布類は、雨の日や地面が濡れている日に出すと、濡れたり地面から湿気を吸ったりしてカビが生え、リサイクルできなくなります。布類と同じ日に回収し

■家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方抜粋

分別区分	主な品目	出し方のルール	
資源物	びん類	飲料・食品用（食用油、調味料、梅酒など）のびん、化粧品類のびん ・中身を空にして、すすいでから直接収集用コンテナへ	
	缶類・金属類	飲料・食品用の缶、スプレー缶、なべ、やかん、フライパンなど ・中身を空にして、すすいでから直接収集用コンテナへ ・スプレー缶は、穴を開けずに中身を使い切ってから直接収集用コンテナへ。ガスは、風通しが良く火の気のないところで抜く	
	ペットボトル	飲料・食品用のペットボトル ※右の識別表示マークがついた無色透明のもの  ・キャップを外してラベルを剥がし、中をすすぎ軽く潰してから、直接収集用網袋へ。キャップとラベル、油分が取れない、汚れのひどいペットボトル、着色されたペットボトルは可燃ごみへ	
	紙類	新聞紙、雑誌類、ダンボール、雑がみ	・品目ごとに分け、ひもで十字に縛る。箱状のものはたたむ
		牛乳や各種飲料の紙パック	・中をすすぎ、平たく伸ばし乾かしてから、ひもで十字に縛る ・お酒の紙パックなど、内側が銀色のパックは可燃ごみへ
布類	古着、着物、タオル、毛布、シーツなど	・たたんで、ひもで十字に縛る	
可燃ごみ	台所の生ごみ類、資源物として出せない紙類・布類、プラスチック・ビニール・ゴム類、革製品、草木類など	・生ごみは水分を切る。太さ7cm以下で、長さ50cm以下の植物の枝や、袋に入ると破れてしまう長さ50cm以下の硬い茎系の植物は、指定ごみ袋に入れずにひもで直径30cm以下に束ねて出す。枝木の葉は落とし、指定ごみ袋に入れる。一回に5束程度まで	
不燃ごみ・有害ごみ	【不燃ごみ】小型電化製品、小型家庭雑貨、ガラス類・陶磁器類など	・刃物や割れたガラスなど危険なものは、新聞紙などで包み中身がわかるようマジックペンなどで「刃物」「割れ物」と記入し、危険防止の処理をする ・ライター、びん（薬品など）などは中身を空にする	
	【有害ごみ】蛍光管、水銀体温計、乾電池など	・蛍光管は指定ごみ袋からはみ出しても、袋の口を縛って出せます	
粗大ごみ	こたつ、ベッド、布団、収納家具など	・20リットル用の指定ごみ袋の口が縛れない、または袋からはみ出してしまうものは粗大ごみへ	

広告

広告